

2026 年 10 月

【1 分解説】家計の見える化検討会議とは？

資産運用調査部 フェロー 村上 隆晃

家計の見える化検討会議とは、2026 年 2 月に金融経済教育推進機構（J-FLEC）が設置した「家計の『見える化』を実現し、ファイナンシャル・ウェルビーイングを実現するための検討会議」の略称です。具体的には家計の収支・資産・負債・年金等を分かりやすく「見える化」し、自分の家計状況を把握して、ライフプランの見直しや適切な行動につなげる仕組みについて検討しています。

2025 年 6 月の「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」等で、金融資産・年金・キャッシュフローを把握しやすくする環境整備の方針が示されたことを受け、J-FLECが 2026 年 2 月に同会議を設置しました。

同会議は 2026 年 9 月に報告書を公表し、家計を見える化するためには、①収支、資産・負債、年金等を網羅するのではなく、まずキャッシュフロー等優先度の高い情報から把握する。②年齢・家族構成等に応じた情報提供と専門家支援を組み合わせる。③AI等による情報取得・分析の効率化による支援とともに、理解力・判断力・行動意欲を高める教育やプッシュ型支援も重視するといった内容の提言を出しています。

今後は提言内容をJ-FLECの個別相談等で活用し、実務上の有効性や課題が検証される予定です。